

【表：丸森町における江戸期から明治期の主な養蚕業の年表】

年号	西暦	地域	出来事
貞観3	1686	仙台藩	伊達綱村、蚕事係の職を置き養蚕業を奨励
元禄2	1692	仙台藩	蚕卵原紙の寸法を一定化
正徳元	1711	丸森	八巻平工門、養蚕業を起こす（丸森・八雄館の祖）
正徳5	1715	丸森	伊具・亙理地方産の生糸を伊達地方に移出
享保3	1718	丸森	道目木屋敷小野孫十郎（耕野）、養蚕の仕方、絹糸取り方を指南、郡内を回る
文化11	1814	仙台藩	蚕糸市場を角田町に設ける
文政10	1827	丸森	八巻権治、蚕種製造の功績により藩士に列せられる
明治3	1870	全国	蚕種製造規則公布
		丸森	丸森村肝入・幸吉、蚕種製造人世話役を命じられる
明治18	1885	丸森	佐野理八、金山に佐野製糸場「錦栄館」を創設
明治19	1886	丸森	斎藤忠四郎・斎藤利十郎ら、丸森飯塚に器械製糸場を設立
明治21	1888	丸森	有信社（生糸揚返し）を山田小原瀬に設置
明治22	1889	丸森	大針村蚕糸業組合、生糸揚返場を設置
明治25	1892	丸森	伊具亙理蚕糸業組合第一期伝習生25名を出す
		丸森	八巻雄三郎、八雄館を設立
明治29	1896	宮城県	宮城県蚕種取締規則を制定
		丸森	宮城県、蚕種検査所を館矢間・丸森・金山に置く
明治31	1898	丸森	佐野製糸場に気象観測所を設置
明治42	1909	丸森	耕野金井下に耕野製糸株式会社が設立
		丸森	館山で大日本蚕糸会宮城支会品評会を開催
明治44	1911	丸森	阿部小太郎、丸森町製糸場を造る
大正13	1924	丸森	この頃、養蚕最盛期の蚕種製造業者は47名、うち館矢間に34名

【参考文献】

[1] 丸森町教育委員会、「平成改訂版・丸森町郷土史年表」、丸森町文化財友の会（2019）